



福岡医発第 1220 号（総）
平成 22 年 9 月 4 日

各 医 師 会 長 殿

福岡県医師会
会長 松 田 峻一良
（公印省略）

第 4 回地域医療貢献奨励賞候補者の推薦について

標記につきまして、自治医科大学地域医療課長より福岡県保健医療介護部長を通じ推薦方依頼が参りました。

本賞は、永年、地域における医療の確保と向上及び住民の健康福祉の増進に著しい寄与・貢献された医師が対象となっております。

つきましては、別添実施要項に該当される方がありましたら候補者推薦書により来る 10 月 5 日（火） までにご推薦いただきますようお願い申し上げます。

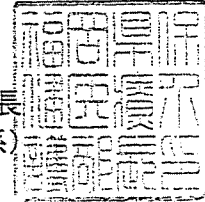
なお、該当者がいない場合もその旨ご連絡下さい。

22医指第1610号

平成22年8月23日

社団法人福岡県医師会会長 殿

福岡県保健医療介護部長
(医療指導課地域医療係)



第4回「地域医療貢献奨励賞」候補者の推薦について（依頼）

日頃から、本県の地域医療行政の推進に当たりましては、御理解、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、標記につきまして、自治医科大学から別紙のとおり推薦の依頼がありました。

つきましては、御多忙中誠に恐れ入りますが、下記の推薦基準に御留意のうえ、該当がある場合は、平成22年¹⁰月⁸17日(金)までに、1名を御推薦いただきますようお願いいたします。

なお、該当がない場合もその旨回答願います。

記

1 推薦基準

別添の第4回地域医療貢献奨励賞実施要項「4. 対象者」に記載された要件を満たすものであること。 -

2 提出書類

第4回「地域医療貢献奨励賞」候補者推薦書

3 提出先

〒812-8577 福岡市博多区東公園7-7
医療指導課 地域医療係 井上

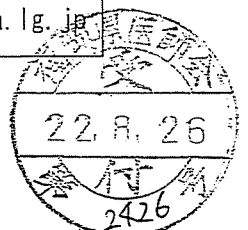
医療指導課 地域医療係

担 当 : 井上

TEL : 092-643-3273

FAX : 092-643-3277

E-mail : inoue-h8039@pref.fukuoka.lg.jp



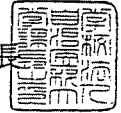
自医大地第 48 号

平成 22 年 7 月 26 日

都道府県自治医科大学主管課長 様

自治医科大学

地域医療推進課長



第 4 回「地域医療貢献奨励賞」候補者の推薦について（依頼）

謹啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

本学の運営並びに本学卒業生の勤務・研修につきましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、財団法人住友生命社会福祉事業団では、地域における医療の確保と向上及び住民の健康福祉の増進に寄与・貢献している医師を表彰し、一層の活躍を期待する「地域医療貢献奨励賞」を平成 19 年度に創設し、これまで各年度 6 名の方々の顕彰を行ってきたところであります。

今般、財団法人住友生命社会福祉事業団から本学に対し、今年度も引き続き「地域医療貢献奨励賞」の候補者を推薦いただきたい旨の依頼がありました。

つきましては、公務ご多端の折恐縮に存じますが、別添の実施要項の表彰対象者の条件に該当する医師を 1 名選考していただき、平成 22 年 9 月 30 日までに候補者としてご推薦くださるようお願いいたします。

なお、候補者推薦書につきましては、財団法人住友生命社会福祉事業団から依頼を受けて本学が都道府県分のとりまとめを担当することになっておりますので、実施要項 9 に記載された提出先ではなく、本学地域医療推進課あてにご送付くださるよう、併せて
謹白

【本件に関する問合せ・書類提出先】

〒329-0498

栃木県下野市薬師寺 3311-1

自治医科大学 地域医療推進課（担当：関口）

TEL:0285-58-7055 FAX:0285-44-6274

E-mail: chisui@jichi.ac.jp



第4回 地域医療貢献奨励賞 実施要項

1. 趣旨

今日の全国的な医師不足の状況を背景に、医学部の定員増をはじめとする様々な施策が講じられているが、医師の地域的偏在(地域間格差)は解消されないばかりか、都市部以外の地域における医師不足は、むしろ拡大する傾向にある。

また、この地域偏在の状況は、単に医師数のみの問題だけでなく、産科、小児科等の特定の診療科における医師不足の問題にまで及んでおり、延いては地域において安心して子どもを生み育てる生活環境に重大な影響を及ぼしているものと推測される。

しかし一方、このような状況の中で、全国各地域の住民の医療・福祉・保健の確保と向上を目指すべく、情熱を傾け、弛まぬ努力を続ける医師達もまた数多く存在している。本賞は、地域における医療の確保と向上及び住民の健康福祉の増進に寄与・貢献している医師を表彰し、今後の一層の活躍を期待するために顕彰するものである。

2. 主催、後援

主催:財団法人 住友生命社会福祉事業団

後援:学校法人 自治医科大学

3. 募集

都道府県からの推薦による。所定の「候補者推薦書」により受付を行う。

なお、過去に推薦した医師を再度推薦することも可能(ただし本賞の受賞経歴のある医師を除く)。また、都道府県単位での受賞経歴は問わない。

4. 対象者

永年に亘り、地域における医療の確保と向上及び住民の健康福祉の増進に著しい寄与・貢献があるとして、都道府県から推薦のある医師。なお、自治医科大学出身者については、同大学を卒業し、義務年限を終了した後も、離島、過疎地域、山村地域、特別豪雪地域に位置する医療機関(※)又は地域医療を支援する部門(地域医療行政、へき地医療支援機構、へき地医療拠点病院等)において通算5年以上勤務し、且つ、現在も地域医療に多大なる貢献をしている満40才以上の医師。

(※)離島振興法、山村振興法、過疎地域自立促進特別措置法、豪雪地帯対策特別措置法の指定地域等。

5. 表彰内容

最大6名に対し、表彰状、表彰楯ならびに賞金50万円を贈呈する。

6. 選考方法

学識経験者等で構成する選考委員会を設け、推薦のあった候補者について選考を実施し、受賞者を決定する。

7. 日程

推薦受付:	平成22年7月～9月
選考期間:	平成22年10月～12月
選考委員会:	平成22年12月3日(金)
表彰式:	平成23年2月19日(土) (東京都)

8. 選考結果の通知

選考結果は推薦のあったすべての都道府県に対し書面にて通知する。

9. 推薦書送付先

財団法人 住友生命社会福祉事業団
〒532-0011
大阪市淀川区西中島5-5-15

10. 個人情報の取り扱い

募集に関連して取得する個人情報は、推薦受付から、選考、結果通知、表彰・賞金贈呈など一連の業務に必要な範囲に限定して利用する。また表彰が決定した場合、受賞者名(所属団体名等を含む)、年齢、表彰内容に関する情報を公開する。

【問合せ先】

財団法人 住友生命社会福祉事業団 本部事務局 橋本
〒532-0011 大阪市淀川区西中島5-5-15
(TEL) 06-6304-8141 (FAX) 06-6304-8041

過去3回の地域医療貢献奨励賞受賞者

第3回受賞者(順不同・敬称略、平成22年2月27日現在)

関口 忠司 (せきぐち ちゅうじ、56 才)

栃木県那須烏山市 南那須地区広域行政事務組合立那須南病院 院長

昭和53年、自治医科大卒。へき地医療拠点病院である那須南病院に20年に亙り勤務し地域医療の確保と向上に努めると共に、「栃木県へき地医療支援機構」設立当初から県のへき地医療の企画運営に主導的な役割を担う。また、自治医科大学の非常勤講師を務め、将来へき地医療を担う医師の養成に取り組む。

辻 博 (つじ ひろし、55 才)

富山県黒部市 黒部市民病院 理事

昭和54年、自治医科大卒。県の4医療圏の1つである新川医療圏の中核病院である黒部市民病院に25年以上に亙り勤務し、農山村の医療確保・医療体制充実に尽くす。また、同病院の健康管理科の開設や健康管理センターの設立など、地域住民の病気予防にも精力的に取り組む。

高田 孝 (たかた たかし、71 才)

石川県白山市 公立つるぎ病院 名誉院長

昭和40年、金沢大学医学部卒。へき地医療拠点病院である公立つるぎ病院に32年に亙り勤務し、へき地医療の確保に中心的な役割を担う。冬期に豪雪で交通困難となる白峰地区への巡回診療を24年に亙り隔週で実施し、市町村合併で中止となった後も、地域住民の強い要望に応え、現在も隔週で診療支援にあたる。

河合 邦夫 (かわい くにお、52 才)

福井県南条郡南越前町 河野診療所 所長

昭和59年、自治医科大卒。平成5年に旧河野村のへき地診療所に就職し、無医地区における巡回診療を含め、16年に亙り、同地域における唯一の常勤医師として地域の医療の確保に尽くす。また、診療所の機能拡充、遠隔画像診断システムの導入など、高い水準の医療提供にも取り組む。

赤木 重典 (あかぎ しげのり、57 才)

京都府京丹後市 京丹後市立久美浜病院 副院長

昭和53年、自治医科大卒。29年に亙り一貫して府北部でのへき地医療に従事。昭和62年から久美浜病院に勤務し、救急患者全例受入の実践活動から、すべての診察依頼に応えることを同病院の基本精神として広めたほか、院内の他職種や地域のさまざまな組織・人との協働を進め、住民が安心して暮らせる地域作りに注力している。

本永 英治 (もとなが えいじ、53 才)

沖縄県宮古島市 沖縄県立宮古病院 医療部長

昭和57年、自治医科大卒。伊是名診療所を皮切りに、西表西部診療所、八重山病院、さらに宮古病院に至るまで、通算19年に亙り離島医療に尽くす。宮古病院では、宮古地区全域の保健・医療・福祉等の各領域を網羅した地域連携協議会の会長としてより良い地域医療の実現に取り組むと共に、院内医師や研修医への指導・教育、学生の実習受入など後進の育成にも傾注する。

第2回受賞者(順不同・敬称略、平成21年2月28日現在)

青沼 孝徳 (あおぬま たかのり、56 才)

宮城県遠田郡涌谷町 涌谷町町民医療福祉センター センター長

昭和53年、自治医科大卒。病院を核とした地域包括医療システム構想の実現のため、涌谷町町民医療福祉センター設立以来20年にわたり在宅医療の実践に尽くすとともに、へき地医療拠点病院として、他地域への支援にも積極的に取り組む。

大森 英俊 (おおもり ひでとし、54 才)

茨城県常陸太田市 医療法人大森医院 院長

昭和54年、岩手医科大卒。平成5年に福島県境に近い旧里美村で開業し、現在に至る。大森医院は高齢化の進む地域にあって唯一入院施設をもつ有床診療所として、特別養護老人ホーム、小規模多機能型居宅介護事業所も併設し、地域の医療を一手に支えている。

山田 寛 (やまだ ひろし、49 才)

静岡県静岡市葵区 静岡市国民健康保険井川診療所 所長

昭和59年、自治医科大卒。平成2年以来、南アルプス山間の地区唯一の医療機関である井川診療所に勤務。過去に常勤医不在のこともあった同診療所で、医療にとどまらず福祉サービス分野にも幅広く取り組み、地域住民の健康増進に献身している。

廣内 幸雄 (ひろうち ゆきお、55 才)

和歌山県伊都郡高野町 高野町立高野山病院 院長

昭和53年、自治医科大卒。昭和60年以来23年以上にわたり海拔約1000mの山上に立地する高野山病院において、無医地区を含む同町内全域への医療サービスに献身的に取り組む。町内唯一の病院の機能拡充とともに、へき地医療に取り組む後進医師の育成にも努力を傾注する。

渡邊 賢司 (わたなべ けんじ、57 才)

鳥取県岩美郡岩美町 岩美町国民健康保険岩美病院 院長

昭和53年、自治医科大卒。智頭町、日南町の県内山間地域2か所での勤務を経て、長年にわたり県最東部の岩美町国民健康保険岩美病院において、臨床の現場に立つとともに、保健・医療・福祉が一体となった住民サービスの提供に尽力、県内の地域医療の枢要を担う。

春口 洋賜 (はるぐち ひろし、57 才)

熊本県球磨郡多良木町 球磨郡公立多良木病院 副院長

昭和53年、自治医科大卒。少子高齢化が進み、成人病患者も多い球磨地域のへき地医療拠点病院である多良木病院において、循環器科医師として救急救命医療をはじめとする診療活動に従事。また、県のへき地医療支援機構選任担当官として代診医派遣、研修指導等の地域医療拡充を主導した。

第1回受賞者(順不同・敬称略、平成20年2月8日現在)

葛西 智徳 (かさい とものり、47才)

青森県三戸郡三戸町 国民健康保険三戸中央病院・副院長

昭和61年、自治医科大卒。本州最北端の下北郡大間町を最初に、青森県内のへき地5か所で勤務。県下自治体間の医療連携の推進、後進医師輩出への取組等に尽力。

布施 克也 (ふせ かつや、49才)

新潟県十日町市 県立松代病院・院長

昭和59年、自治医科大卒。過疎・豪雪地帯である十日町市において、高齢化が進む山間地のプライマリケアを中心とする地域医療にとり組む。現任の松代病院は平成19年度の自治体立優良病院の表彰を受ける。

奥野 正孝 (おくの まさたか、54才)

三重県鳥羽市 鳥羽市立神島診療所・所長

昭和53年、自治医科大卒。鳥羽市の神島診療所に勤務の後、自治医科大での勤務を夹んで、再び神島診療所に赴任、現在に至る。離島という厳しい条件下、島民の医療確保、健康増進に努める。

榊原 均 (さかきばら ひとし、52才)

島根県隠岐郡海士町 海士町国民健康保険海士診療所・所長

昭和55年、獨協医科大学大学院卒。医師不足の象徴的存在となっている隠岐において、島前中ノ島の海士診療所で、長期にわたって離島医療活動に取り組む。

津田 俊彦 (つだ としひこ、52才)

長崎県五島市奈留町 長崎県離島医療圏組合奈留病院・院長

昭和54年、自治医科大卒。五島列島の中央に位置する人口4000人弱の奈留島の地域医療を長期にわたり一手に担う。離島病院が連携して医療提供を行う長崎県離島圏組合の体制づくりにも尽力。

今隈 満 (いまぐま みつる、58才)

鹿児島県肝属郡南大隅町 今隈医院・院長(開業)

昭和49年、鹿児島大卒。肝属郡医師会立病院に勤務の後、院長職を後進に譲り、同郡内の無医地区である大隅半島南端の佐多地区で開業、地区の診療活動と並行して医師会立病院での出張診療にも従事。

(財)住友生命社会福祉事業団

第4回「地域医療貢献奨励賞」候補者推薦書

提出日：平成 年 月 日			
ふりがな		性別	生年月日
氏 名		男 女	年 月 日 (満年齢 歳)
ふりがな		勤務先	
現住所（〒 - ）			
電話 () FAX ()			
学 歴 (卒業高校から記入)			
年 月 日	学 校 名		
職 歴			
年 月 日	勤 務 先 名		

推 薦 理 由

(推薦理由については、地域医療への貢献度、業績（実績）等を詳細かつ具体的に記載してください。)

推 薦 者

ふりがな

団体名

又は個人名（肩書・氏名）

㊞

（団体の場合記入）

代表者役職 氏名（ふりがな）

㊞

ふりがな

〒

—

（団体の場合記入）

担当者役職 氏名（ふりがな）

電話

()

FAX

()